

ペット霊園の設置等に関する規制の必要性について

1 背景

本年4月に市内のペット霊園（宝塔）が、霊園利用者に対して適切な通知がないまま廃園し、葬られていたペットの骨や灰が掘り起こされた状態で放置されていたことを受け、インターネットニュース、テレビ、新聞等のマスメディアにより、今回の問題が世間に広く報道されました。

市に対しては、今回の問題についての多くの問い合わせが各部署にありましたが、市にはペット霊園を規制する部署がなく、ペット霊園に関する情報もない状況でした。

本件を受けて、本市としてもペット霊園についての制度は必要であると考えており、また市民等からも条例等による規制が必要であるとの要望を受けています。

2 ペット霊園等における現状について

（1）ペット霊園等に関するトラブルについて

ペット霊園については、運営時の火葬に伴う煙や火葬施設からの悪臭の問題、ペット霊園設置にかかる周辺住民からの反対運動、契約にまつわる業者と利用者とのトラブルが、全国的に発生しています。

本市においても、借地で行われていたペット霊園が、土地の利用方法が貸借条件と異なる状態で経営を行い、利用者に対して通知や適切な処置がされないまま廃園となり、葬られていたペットの骨や灰が掘り起こされた状態で放置されていたという事案が発生しました。

そのほか、移動火葬車（火葬を行うための設備を有する自動車）を用いてペットの死体の火葬を行う業に関しても、契約にまつわる業者と利用者とのトラブルや不法投棄といった問題が全国的に発生しています。

（2）既存法令による規制について

ペット霊園の事業内容に関して規制を行う特段の方法は、既存法令にはありません。動物及び墓地並びに火葬施設の関連法令において規制対象とならない理由は下表のとおりです。

表 1. 各関連法令において規制対象とならない理由

法令名	規制対象とならない理由
動物の愛護及び管理に関する法律	法改正に伴い、ペット霊園等を動物取扱業の業種に追加し、規制しようとする動きがあったが、第2条で『動物が命あるものであることにかんがみ』としており、死亡した動物を取り扱う業を動物取扱業に含めることが法律の目的にそぐわないとの考えから、ペット霊園等を動物取扱業には含めないとしたため、同法の規制対象外。
墓地、埋葬等に関する法律 枚方市墓地等の経営許可等に関する条例	人の墓地を対象として規制しているため、ペット霊園については規制対象外。
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物に関する規制を行うことが目的であり、この法律においては、ペット霊園等において取り扱われる動物の死体は廃棄物として扱われないという国の見解があるため、規制対象外。
大気汚染防止法 大阪府生活環境の保全等に関する条例	ペット霊園で用いられる火葬施設については、一定規模以上であれば「廃棄物焼却炉」として扱われ、排出される大気汚染物質について基準があり、排出規制を受けるが、一般的にペット霊園で用いられる火葬施設は、この要件を満たさない規模であるため、対象外となることが大半。

(3) 他自治体における規制状況について

前述のとおり、ペット霊園等に関するトラブルに対し、既存の法令で事業の内容について規制を行うことが出来ないことから、各自治体が条例又は要綱等を制定し、独自の規制により、これらのトラブルの防止及び指導を行なっています。平成 29 年 8 月時点における本市調査では、120 の自治体が条例を、36 の自治体が要綱等を制定しています。

近隣市においては、高槻市が平成 25 年 4 月、箕面市が平成 26 年 1 月、京都市が平成 27 年 7 月にペット霊園等の規制に関する条例を施行しています。

3 本市におけるペット霊園の状況について

表 2. 現在本市で把握している市域のペット霊園

霊園等	所在地域	施設			住宅からの距離
		墳墓	納骨堂	火葬施設	
ペット霊園 A	東部地域	○	○	○	200m 以上
ペット霊園 B	中東部地域	○	○	○	75m 程度
ペット霊園 C※	南部地域	○	—	—	10m 以下

※ 寺院の敷地内に設置されている霊園

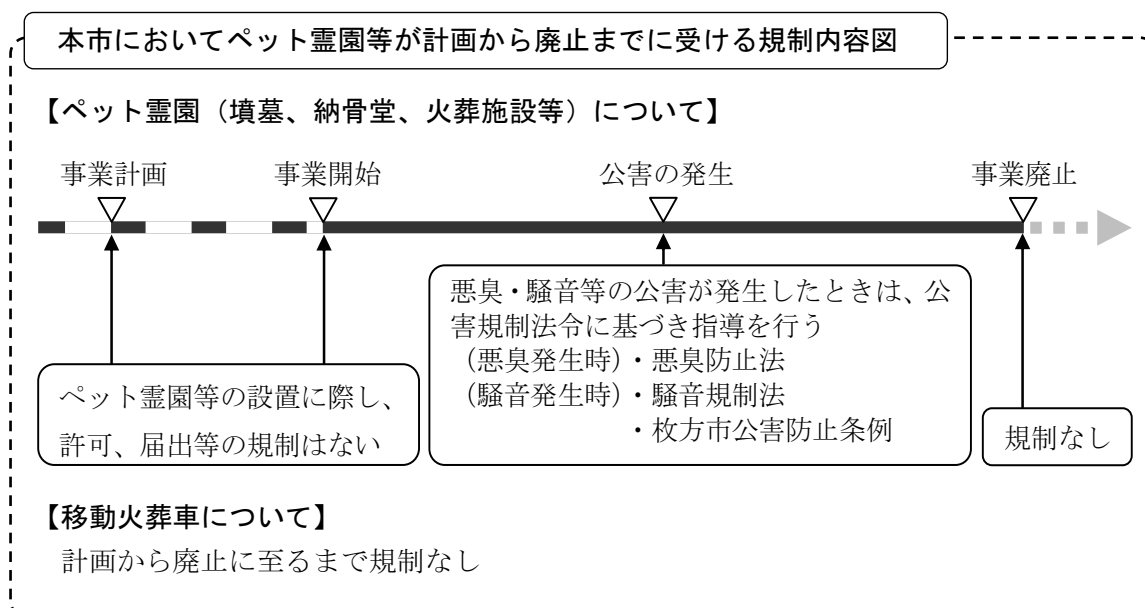
上記 3 施設については、平成 26 年度に煙に関する苦情が 1 件ありましたが、その他で近隣住民等とのトラブルが発生している事案は、現在では確認されておりません。

4 本市における規制について

(1) 本市における規制の課題について

ペット霊園事業に伴って悪臭及び騒音に関する公害が発生した場合には、悪臭防止法や騒音規制法、枚方市公害防止条例に基づき各規制基準値の順守の指導を行うことができません。しかし、公害の発生又は届出対象の施設の設置がない限り、その事業について本市が把握することはできません。

したがって、現在の本市における規制では、全国的に発生しているペット霊園事業者と利用者又は住民とのトラブルの防止及び指導を行うことはできない状況となっています。



(2) 本市における規制の方向性について

全国的に発生しているペット霊園等に関するトラブルを踏まえると、事業活動に伴う公害の発生のみならず、ペット霊園等が持つ忌避性を鑑みた規制が求められます。

また、ペット霊園利用者としては、ペット霊園が継続的に運営されることが望まれ、ペット霊園が廃園となる場合には、利用者に対して適切な対応を行なうことが求められます。

本市で発生した事案を踏まえ、今後起こりうるペット霊園等に関するトラブルを未然に防ぐために、地域の良好な生活環境の保全及びペット霊園利用者の保護を図ることを目的として、ペット霊園等に対して規制を行うものです。

なお、規制にあたっては、事業者に一定の義務を課し、又はその権利を一定制限する必要があるため、「条例」を制定します。